

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 学校法人 熊本YMCA学園

科目		科目の内容	訓練時間	
学 科	入校式／修了式	オリエンテーション、訓練概要説明(3H)、修了証交付(2H)、就職支援(3H)等	6	
	①職務の理解(知識)	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	9	
	②介護における尊厳の保持・自立支援(知識)	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	6	
	③介護の基本(知識)	介護職の役割、専門性とは職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	9	
	④介護・福祉サービスの理解と医療との連携(知識)	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者自立支援制度およびその他の制度	6	
	⑤介護におけるコミュニケーション技術(知識)	挨拶、コミュニケーション方法、立ち振る舞い、言葉遣い	9	
	⑥老化の理解(知識)	老化に伴うこととからだの変化と日常、高齢者と健康	6	
	⑦認知症の理解(知識)	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこととからだの変化と日常生活、家族への支援	3	
	⑧障害の理解(知識)	障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識、家族の心理、かかり支援の理解	11	
	⑨こととからだのしくみと生活支援技術(知識)	介護の基本的理解、介護に関することとからだのしくみの基礎的理解、快適な居住環境整備と介護、介護に関することとからだのしくみの基礎的理解、終末期介護、生活と家事	9	
訓 練 内 容	⑩振り返り(知識)	就業への備えと研修修了後における継続的な研修、実習事前施設訪問、介護現場で実習をするにあたっての実習指導、振り返り	1	
	修了評価	修了評価	24	
	職業能力基礎研修	自己理解・仕事理解・職業意識・挨拶・返事・身だしなみ・ビジネスマナー・接遇マナー等	21	
	パソコン基礎知識	ビジネス文書の基本、ビジネス帳票の基本、データ整理	3	
	安全衛生	防災、リスクマネジメント、一般安全衛生		
	実 技	⑨こととからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術)	こととからだのしくみと自立に向けた介護(整容、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠)、生活と家事にかかる演習	61
		⑨こととからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術演習)	介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	14
		⑩振り返り(演習)	実習施設の概要調査、実習の心構え、身だしなみ、グループワーク(計画、目標立案、記録の書き方)、振り返り	6
		パソコン演習	コンピュータの基礎的理解、文字入力、文書作成、ケア記録の入力(使用ソフト:Word)、表やグラフの作成、タイトル管理(使用ソフト:Excel)	63
	<input type="checkbox"/> 職場体験 <input type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> 職場見学 <input type="checkbox"/> その他			
企業実習		<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する	40	
訓練時間総合計		307時間 学科 123時間 実技 144時間 職場体験等	時間	
受講者の負担する費用		教科書代 10,000円 その他(交通費) 最大4,920円	合計 14,920 円	
指 導 方 法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する。		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	広い実習室がある。また複数の介護用品や福祉用具も利用できる。熊本YMCA学院ではグループワークも取り入れ、人間関係調整能力の向上も見込める。コンピュータ室はネット環境も充実しているため、求人検索もでき学習への活用ができる。		
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	個人面談による受講状況の確認及び苦手分野のフォローアップ体制も構築できている。		